

# 高知県の気候

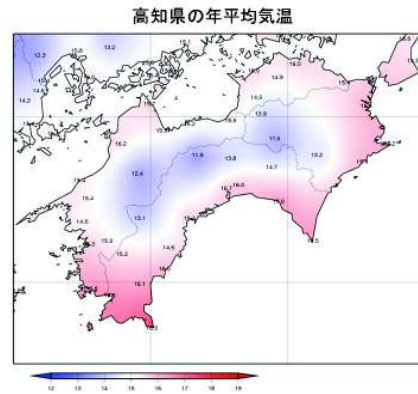
## 【気候特性】

高知県は、北は東西に延びる四国山地があり、南は太平洋に面しています。また東に室戸岬、西に足摺岬が太平洋に突き出し、その内に土佐湾を抱く東西に細長い扇状をしています。

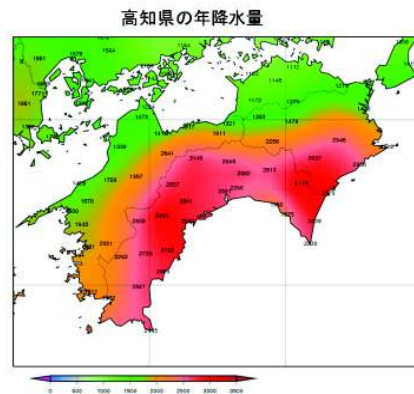
寒い冬の季節は、四国山地が高知県の気候に与える影響は大きく、北西の季節風が四国山地に吹き付けるため、山間部や豊後水道に面した地方は雪が意外と多くなっています。しかし、海岸地方では季節風が四国山地に遮られるのに加え、黒潮の影響も受けて温暖な気候となっています。

暖かい夏の季節には、黒潮上を渡る南寄りの湿った気流が四国山地に吹きつけるため、山間部では平年の年間降水量が3,000mmを超える所が多く、東部の魚梁瀬地方では4,000mmと日本では有数の多雨地帯となっています。

このように高知県の気候特性は、温暖な海洋性気候、山間部の内陸性気候、また、多雨気候、低温で雪の降る日本海側の気候など、変化に富んだ気候特性を持っています。



海岸地方は黒潮の影響を受けて平均気温が高く、山地との温度差は6℃以上と大きくなっています。



南からの暖かく湿った空気の影響を受けて山地を中心に降水量が多くなっています。特に東部山岳は4000mmに達する降雨地で、日本有数の多雨地域です。

## 【変化】

最近は毎日のように「地球温暖化」という言葉がでできます。地球温暖化とは大気中の二酸化炭素などの温室効果ガスが増えて、地球がだんだん暖かくなることです。二酸化炭素は太陽の光は通しますが、熱は蓄えて逃がしません。ちょうど大きな温室の中に地球が閉じ込められたような状態で、太陽からの熱でどんどん暑くなっていきます。100年あたりの年平均気温は世界で0.7℃、日本で

高知市中央公園付近の気温：平成19年8月18日12時前



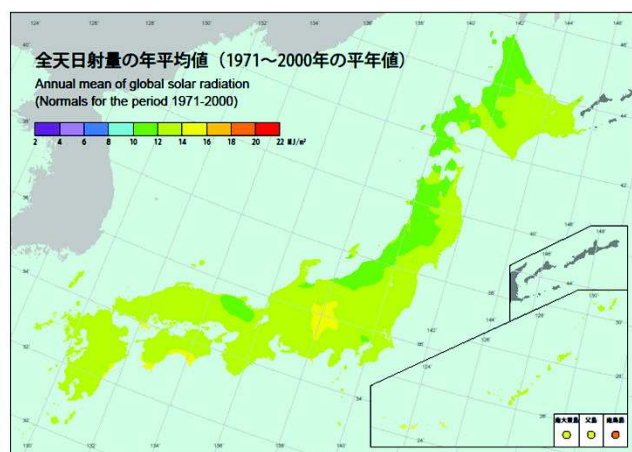
高知市の中央公園付近の気温は気象台（高知市比島）の観測に比べて3度ほど高くなっていて、高知市の中心部ではヒートアイランドの可能性を示しています。

1.1℃上昇しました。高知市の気温は 1.4℃上昇していて、世界や日本よりも大きくなっています。この原因は地球温暖化に加えて、人口が集中したり、建物が増えて、緑地が少なくなることなどによって起こる都市部特有の気温の上昇が加わっています。

「ヒートアイランド」という言葉をご存知でしょうか。「ヒートアイランド」とは都市部の気温が郊外に比べて島のように高くなっていることです。平成 18 年度高知県地球温暖化防止活動推進員研修において高知市中央公園付近で気温を観測しました。その結果、中央公園付近の気温は気象台（高知市比島）の観測に比べて 3 度ほど高いことがわかりました。高知市の中心部ではヒートアイランドの可能性を示しています。

気温の上昇に伴い、高知市では真夏日（1日の最高気温が 30℃以上）が増加し、一方で冬日（1日の最低気温が 0℃未満）は大きく減少しています。また、雨の降り方にも影響を与え、短い時間に猛烈な雨が降る回数が増加しています。

## 【人との関わり】



高知県の沿岸部は宮崎県・山梨県と並んで日本有数の日射量が多い地域です。太陽光発電に適していて、太陽光発電3.0kwシステムで年間およそ1200kgの二酸化炭素が削減できます。

2007 年、IPCC（気候変動に関する政府間パネル）は、「このまま地球温暖化が進むと今世紀末には世界の気温は最大 6.4 度上昇する」と発表しました。地球温暖化は単に気温が上がるという問題だけではありません。豪雨や干ばつなど異常気象が多発し、熱中症や熱帯性感染症の被害も大きくなります。海水面が上昇し、南太平洋の島国など海拔の低い国では水没の可能性もあります。さらに生態系や水資源、食糧生産などにも大きな被害が起こることが予想されています。地球温暖化防止はいまや世界人類共通の緊急かつ最重要事項なのです。

二酸化炭素は石油・石炭などの化石燃料を燃やすことによって排出されています。したがって、化石燃料をたくさん燃やす発電、交通、産業、家庭からの排出量が多くなります。私たちはどうやれば二酸化炭素の排出を減らしていけるのかを考えいく必要があります。

ところで、高知県は宮崎県・山梨県に並んで日本有数の日射量の多い県です。この恵まれた太陽エネルギーを太陽熱温水器や太陽光発電に利用して、二酸化炭素の排出削減に役立てたいものです。

武市 智（高知県地球温暖化防止活動推進員）